



**アルコール検知器協議会**  
JAPAN BREATH ALCOHOL TESTING CONSORTIUM

# 業務委員会の上期の活動報告と相談事項

**合同委員会**  
**2019年10月24日**  
(14:10~15:10)

東京駅セントラルカンファレンスセンターカンファレンスルーム12E

<http://www.kashikaigishitsu.net/facilitys/cc-tokyoeki-central/access/>



- ✓ 業務委員会 上期（4月～10月までの報告）
- ✓ 業務委員会 上期 予算消化状況
- ✓ 上期活動から、相談事項 3点

# アルコール検知器協議会とは



## 第2条（目的）

本会は、アルコール検知器の技術や品質の向上、ならびにアルコール検知器の普及啓発によって業界の地位の向上を図る。

本会は、関係官庁、各団体との連携と会員相互の協調を通じて、アルコールの過剰摂取や短時間での大量摂取等に代表される飲酒問題や自動車等の飲酒運転の根絶に寄与することを目的とする。本会は、営利を目的としない組織である。



# 2019年度



アルコール検知器協議会  
第4回定時総会

第二号議案

2018-2020  
中期活動計画（案）

2019年度  
（2019年4月-2020年3月）  
業務委員会活動計画

アルコール検知器協議会  
2018年4月23日  
幹事会

2019年4月12日  
日本アルコール検知器協議会 第5回定時総会



第1期  
2015-2017

第2期  
2018-2020

第3期  
2021-2023

# 業務委員会の役割

会則 第3条 (活動内容)	業務委員会	技術委員会
(1) アルコール検知器の利用と活用に係る普及および啓発。	○	
(2) アルコール検知器の技術・品質向上のための調査研究。		○
(3) アルコール検知器および飲酒運転防止に関連する法令の周知および広報。	○	
(4) アルコール検知器に関連する行政機関との連絡、協議。	○	○
(5) アルコール検知器や飲酒の専門知識を用いた道路交通安全の促進および普及。	○	
(6) アルコール検知技術や交通安全政策に関する国際交流。	○	○
(7) アルコール健康障害対策基本法に関連する行政機関および各団体等との連携。	○	
(8) その他、会の目的を達成するために必要な活動。	○	



# 2018-2020活動計画

会則	活動内容	1年目	2年目	3年目
		2018	2019	2020
(1) 検知器の利用と活用に係る普及と啓発	啓発資料のウェブ拡充	→		
	検知器業界・市場情報のウェブ拡充	→		
	新検定の広報とウェブ拡充	→		
(2) アルコール検知器の技術・品質向上のための調査研究。	外部検定の定着、規格の拡充	→	→	→
	海外規格の動向調査	→	→	→
	JIS化の可否調査	→	→	→
(3) アルコール検知器および飲酒運転防止に関連する法令の周知および広報。	現行法令、刑罰の整理とウェブ拡充	→		
(4) アルコール検知器に関連する行政機関との連絡、協議。	未接触各業界団体への認知活動		→	→
	国土交通省プラン2020「飲酒運転根絶」		→	→
	経産省 呼気試験機分科会との連絡、協議	→		
(5) アルコール検知器や飲酒の専門知識を用いた道路交通安全の促進および普及。	アルコール検知器を使った、協議会ならではの教育開発プログラム（協議会認定インストラクター）		→	→
(6) アルコール検知技術や交通安全政策に関する国際交流。	海外の飲酒運転交通政策調査とウェブ拡充		→	
	飲酒問題シンポジウム調査（T2025開催へ向けて）		→	
	海外の検定機関の調査（訪問か招聘）		→	
(7) アルコール健康障害対策基本法に関連する行政機関および各団体等との連携。	各都道府県の飲酒運転防止条例、アルコール健康障害対策プログラムへの提言		→	
(8) その他、会の目的を達成するために必要な活動。	J-BACのITシステム化、WEB充実化	→		

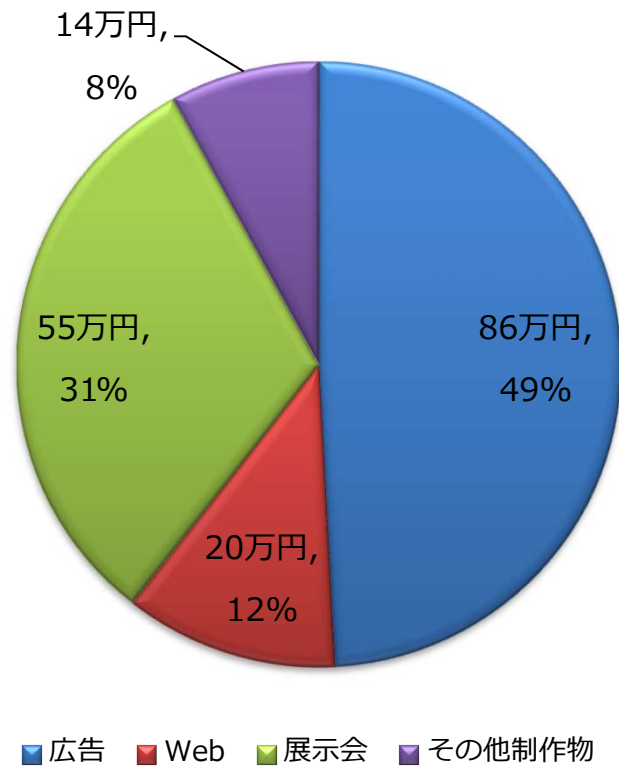


# 2019年度 業務委員会 4テーマ

1. 外部検定開始！の広報
2. J-BACの教育実績をつくる
3. 業界の見える化、情報提供の強化
4. 未接触各業界団体への認知活動



# 2019年度 単年度予算（案）



活動内容内訳		予算執行委員	予算
1-1	Webサイト拡充	業務	20万円
1-2	安全協会HPバナー掲載	業務	32万円
1-3	交通ジャーナル 広告掲載	業務	54万円
1-4	展示会出展費用	業務	35万円
1-5	備品調達（展示会等使用物品）	業務	10万円
1-6	発送運賃等（展示会等使用物品）	業務	10万円
1-7	名刺/ポスター等印刷物 費用	業務	14万円
合計			175万





# 業務委員会2019

# 活動体制

## 2018-2020 中期活動目標 (2018年4月 総会決議)

業務委員会の役割とメンバー 企業名・敬称略			委員長	副委員長	リーダー	2019年度 (2019年4月 総会)				
						新Websiteによる 広報強化	未接触官庁 団体への認知)	展示会等による 広報・啓発	教育による 啓発活動	海外調査、 広報
						Web IT班	官公庁班	展示会班	教育班	海外班
Web IT班 (7社7名)	新コスモス電機	境 裕司			○					
	(株)パイ・アール	谷本亜樹								
	N I S S H A エフアイエス	柳谷 順子								
	テレニシ株式会社	細川理恵								
	テックウェルID	神木宏								
	名鉄 E I エンジニア	伊藤正秋								
	ドコモ・システムズ	村田 敦								
官公庁 広報班 (3社6名)	サンコーテクノ(株)	坂口正一			○					
	中央自動車工業	酒井 規光								
	中央自動車工業	浜本 謙								
	中央自動車工業	高橋 智也								
	パイ・アール	牧寺秀樹								
	パイ・アール	久世浩史								
展示会班 (7社9名)	フィガロ技研	西村明久			○					
	中央自動車工業	内丸 雅之								
	タニタ	坂田和彦								
	東洋マーク製作所	山内 昌人								
	テレニシ	東野 蔵			○					
	テレニシ	吉田寛之								
	ネモト・センサエンジニアリング	三浦 章宏								
	ネモト・センサエンジニアリング	菅井 孝								
	フィガロ技研	四方行洋								
教育班 (3社3名)	東海電子	森田一磨			○					
	タニタ	佐川清志								
	パイ・アール	山崎帆洋								
海外班 (1社2名)	東海電子	ブライアン アドコック			○					
	東海電子	杉本哲也	○							



# 2019年度 業務委員会 開催実績

	開催候補日	東京	大阪
第1回	2019年5月8日	○	
第2回	2019年6月24日		○
第3回	2019年7月23日	○	
第4回	2019年9月19日		○
第5回	2019年10月24日	○	
第6回	2019年12月3日		○
第7回	2020年1月23日	○	
第8回	2020年2月25日		○



業務委員会活動

2019年度

> 2019年4月12日

> 2019年5月8日

> 2019年6月24日

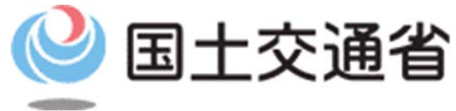
> 2019年7月23日

> 2019年9月19日

上期、4回の開催。議事録は会員ページに掲載。技術委員も閲覧可能。



# 官公庁班の上期活動



 総合政策	 国際	 物流	 運輸安全	 危機管理
 国土政策	 土地・建設産業	 都市	 水管理・国土保全	 道路
 住宅・建築	 鉄道	 自動車	 海事	 港湾
 航空	 北海道	 政策統括	 官庁営繕	 技術調査

## ◇国交省系

- ✓ 航空局 情報提供
- ✓ 鉄道局 検討会への参加
- ✓ 海事局 検討会への参加
- ✓ 自動車局 情報提供
- ✓ トラック協会 情報提供
- ✓ バス協会 情報提供

## ◇その他業界団体系

- ✓ 義歯安定剤連絡会
- ✓ JCCLS (ISO/TC272)



# 国交省の動き

## 2019年7月 航空



### 客室乗務員等の飲酒基準の制定

～航空分野でのアルコールによる事故・ヒューマンエラー防ぎます！～

一連の航空会社における飲酒事案を受け本年4月9日に有識者検討会にてとりまとめた「航空従事者の飲酒基準について」を踏まえ、本日、航空法に基づく操縦士以外の客室乗務員、運航管理従事者及び整備従事者についてのアルコールに関する基準を以下のとおり設けます。

#### 1. 概要

国土交通省では一連の航空会社における飲酒に係る不適切事案を踏まえ、昨年11月に有識者検討会を設置し、まずは操縦士の飲酒基準について検討を進め、昨年12月に中間とりまとめを行い、本年1月31日に操縦士の飲酒基準を制定しました。

それ以降、同検討会において操縦士以外の客室乗務員等の航空従事者について検討を進め4月9日にとりまとめを行ったところ、今般、当該とりまとめを踏まえ、客室乗務員等についての飲酒基準を制定しましたので公表します。

#### 2. 主な基準の内容

##### (1) 対象

航空機の運航に直接関与する者のうち「瞬時に正確な判断・行動」が求められる、かつ、その者の「単独の判断・行動」により安全運航に影響を与える以下の者。  
一 対象者：客室乗務員、運航前整備を行う整備従事者及び対空通信を行う運航管理従事者

##### (2) 内容

① アルコール検査の義務化(運航規程・整備規程(航空法104条)、業務規程(航空法20条)の記載項目の追加(課長通達))

・業務前にストロー式のアルコール検知器による検査を義務化

(※機上で旅客の避難誘導を行う客室乗務員は乗務後の検査も義務化)

・アルコールが検知された場合の検査を禁止

・検査時のなりすましやすり抜け等の不正防止体制(第三者立ち会い等)の義務化

・検査結果(日時、名前、数値等)の記録・保存の義務化 等

② アルコール教育の徹底等(安全管理規程(航空法第103条の2)の記載項目の追加(局長通達))

③ アルコールが検知された場合や検査を不正に行った場合等について航空局への報告の義務化(航空法第111条の4の報告対象に追加(室長通達))

関連通達については次のURLをご参照下さい。

URL:[http://www.mlit.go.jp/report/press/kouku10\\_h\\_000166.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/kouku10_h_000166.html)

#### 3. スケジュール

公布・施行：令和元年7月5日(基準の適用にあたり大量のアルコール検知機器の整備等のために時間を要する場合があります)を踏まえ令和元年12月31日までの猶予期間を設定)

【お問い合わせ先】 航空局安全部 運航安全課 藤、小御門、河本  
TEL 代表 03-5253-8111(内線50111、50117)、直通 03-5253-8737 FAX 03-5253-1661  
航空局安全部 航空機安全課 田口、村上  
TEL 代表 03-5253-8111(内線50245、50249)、直通 03-5253-8735 FAX 03-5253-1661

## 2019年8月 海運



### 海運分野の新たな飲酒対策をとりまとめました ～「海運分野の飲酒対策に関する検討会」とりまとめ公表～

国土交通省は、「海運分野の飲酒対策に関する検討会」において検討した結果を踏まえ、今般、海運分野の新たな飲酒対策をとりまとめました。

交通輸送モードにおける飲酒に係る安全対策強化への関心が高まる中、海運分野においても飲酒に係る不適切事案が発生したことから、平成31年3月5日に「海運分野の飲酒対策に関する検討会」を設置し、海運分野における飲酒に係る安全管理体制のあり方等について検討を重ねてきました。

7月26日に開催した第3回検討会における議論も踏まえ、本日、海運分野における新たな飲酒対策をとりまとめを行いましたので公表いたします。

#### 【とりまとめの概要】

##### 1. 飲酒管理体制の強化

① アルコール検知器を用いた検査体制の導入

② 業務(航海当直)開始前の飲酒禁止期間の設定

③ 事業者の飲酒教育の実施

##### 2. 平穏な沿岸域(平水区域)のみを航行する船舶に対する飲酒規制(酒気帯び禁止)

#### 【添付資料】

・海運分野の新たな飲酒対策(本文)

※取りまとめ本文については、国土交通省ホームページからもご確認いただけます。



#### 【問い合わせ先】

国土交通省海事局安全政策課 前里、関、木内、塚石  
代表：03-5253-8111(内線 43-553、43-552、43-551、43-502)  
直通：03-5253-8631 FAX: 03-5253-1642

## 2019年10月 鉄道



### 鉄軌道運転士の飲酒に関する基準等を改正します

国土交通省では、鉄軌道事業者の飲酒に関する基準のあり方について検討した結果を踏まえ、鉄軌道の運転士に対する飲酒基準を改正しました。

公共交通全体で飲酒に関する規制の強化が強く求められている中、国土交通省では、鉄軌道事業者の飲酒に関する基準のあり方について昨年度より検討を重ねてまいりました。

今般、検討結果を踏まえ、鉄軌道事業者の運転士に対する飲酒に係る管理の徹底に万全を期すため、本日付で以下のとおり関連する基準(鉄道に関する技術上の基準を定める省令等の解釈基準、動力車操縦者運転免許の取消等の基準)等を改正しました。

#### 【主な改正の概要】

① 事業者に対し、運転士への酒気帯びの確認について以下の事項等を規定

・ 作業前後に酒気帯びの有無を確認

・ 酒気帯びの有無の確認はアルコール検知器(ストロー式、マウスピース式)の使用に加え、目視等により行う  
(作業前の確認以降、事業者の管理の下にある場合は、作業後のアルコール検知器を用いた検査を省略可)

・ 作業前に酒気帯びた状態が確認された場合には当該係員の乗務禁止

・ 次に掲げる事項の記録・保存

確認を行った者及び確認を受けた者の氏名、確認の日時・方法、酒気帯びの有無

② 運転士に対し、酒気帯びた状態を操縦した場合の行政処分(運転免許の取消)適用上の目安を設定

・ 身体に血液 0.2g/ℓ 以上又は呼気 0.09mg/ℓ 以上のアルコール濃度を保有している場合

・ 上記にかかわらず、飲酒の影響により、反応速度の遅延など列車等の正常な操縦ができないおそれがある場合

#### 【スケジュール】

改正・施行：令和元年 10月 4日

①の規定は、改正後の酒気帯びの有無の確認に関するアルコール検査を実施する体制等が整備されるまでの間、適用を猶予する経過措置を設ける

②の規定は、令和元年 10月 18日より適用

#### 【参考】

(国土交通省HP)

・鉄道に関する技術上の基準を定める省令等の解釈基準

(<http://www.mlit.go.jp/common/001273450.pdf>)

・動力車操縦者運転免許の取消等の基準

(<http://www.mlit.go.jp/common/000115770.pdf>)

【連絡先】 鉄道局技術企画課 (①に関する) 小林、小松  
電話：03-5253-8111(内線 40704)、直通：03-5253-8546、FAX：03-5253-1634  
鉄道局安全監理官室 (②に関する) 記伊、福岡  
電話：03-5253-8111(内線 40765)、直通：03-5253-8548、FAX：03-5253-1634

官公庁班にて、外部検定機器、下限値、保守管理等、技術的な知見をふまえて、質疑や情報提供を行ってきた。



## 『海運分野における新たな飲酒対策について』 P5より

(エ) アルコール検知器の精度・保守管理 アルコール検知器については、他モードで利用され社会的に有効性が認められているもの **(例えば、アルコール検知器協議会が認定し、自動車分野で広く利用されているもの)** を使用することとし、アルコール検知器の入れ 替えにあたっては、現在の検知技術水準等を勘案し、次の性能の機器が推奨 される。アルコール検知器の分解能等については、0.01mg/L 単位で表示可能なもの（最低測定限界は 0.05mg/L）。また、アルコール検知器について、製造事業者の推奨する保守管理を行うべきである

<https://www.mlit.go.jp/common/001301861.pdf>



# 下限値に関する提言

2019年5月15日

アルコール検知器協議会



## 【アルコール検知器の測定下限値に関しまして】

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は、アルコール検知器協議会に対しまして格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、アルコール検知器の下限値に関しまして、当協議会としての考え方を取りまとめましたのでご報告いたします。

敬具

<記>

### 【提言】

「0.05mg/L未満を0.00mg/Lと表示することは協議会としては問題が無いものと判断する」

### 【理由】

- ・環境要因(温度、湿度、雑ガス、気圧等)、呼気に含まれる不純物等の要因により表示値に影響を及ぼす可能性がある
- ・国際規格である OIML R126(証拠用呼気アルコール分析計)でも最大許容誤差は±0.02mg/Lと規定されている
- ・アルコール検知器協議会として機器の精度は±0.03mg/Lを許容している
- ・飲酒をしていなければ、過去の経験と実績から、0.05mg/L以上になることは考えにくい

(注) 0.05 mg/L未満の場合であっても、目視等で総合的に確認した結果、酒気を帯びていると判断される場合は、この限りではない。

以上

『海運分野における新たな  
飲酒対策について』 P5より

「アルコール検知器の分解  
能等については、  
0.01mg/L 単位で表示  
可能なもの（最低測定限  
界は 0.05mg/L）。」



# 日本バス協会

✓ 日本バス協会 月報・メルマガに記事掲載



# アル法ネット 賛助団体に登録

 **アルコール健康障害対策基本法推進ネットワーク** ☒ お問い合わせ English

趣旨と組織 | 賛助団体/賛同者 | アルコール関連問題 | 啓発週間 | 基本法 | 基本計画 | 資料ダウンロード

▶ 賛同者 ツイート Share

- ▶ 有識者など
- ▶ アルコール問題議員連盟
- ▶ 国会議員
- ▶ 知事・都道府県議会議員
- ▶ 市長・市議会議員

▶ 賛助団体 (全国)

▶ 賛助団体 (地区ブロック)

▶ 賛助団体 (県別)

- ▶ 北海道
- ▶ 青森県
- ▶ 岩手県
- ▶ 宮城県
- ▶ 秋田県
- ▶ 山形県
- ▶ 福島県
- ▶ 茨城県
- ▶ 栃木県
- ▶ 群馬県

## 賛助団体

■ 賛助団体 (全国一学会・研究会・職能団体など)

- ▶ アルコール医学生物学会
- ▶ アルコール問題議員連盟
- ▶ 一般社団法人 全国精神保健福祉連絡協議会
- ▶ 全国精神保健福祉相談員会
- ▶ 全日本自治団体労働組合
- ▶ 日本アディクション看護学会
- ▶ 日本アルコール看護研究会
- ▶ 日本アルコール関連問題学会
- ▶ 日本アルコール関連問題ソーシャルワーカー協会
- ▶ 日本アルコール・薬物医学会
- ▶ 公益社団法人 日本医師会
- ▶ 日本依存神経精神科学会
- ▶ 公益社団法人 日本医療社会福祉協会

■ 賛助団体 (全国一市民団体・当事者団体・ネットワークなど)

- ▶ 特定非営利活動法人 ASK (アルコール薬物問題全国市民協会)
- ▶ アディクション問題を考える会 (AKK)
- ▶ アルコール・薬物施設連絡会
- ▶ イッキ飲み防止連絡協議会
- ▶ 主婦連合会
- ▶ 全国マック協議会
- ▶ 公益社団法人 全日本断酒連盟
- ▶ 一般社団法人 日本いのちの電話連盟
- ▶ 公益財団法人 日本キリスト教婦人矯風会
- ▶ 日本禁酒禁煙協会
- ▶ 一般財団法人 日本禁酒同盟
- ▶ 日本クリスチャン女性禁酒同盟 (矯風会 JWCTU)

**アルコール検知器協議会**



# 全日本交通安全協会

活動内容内訳		予算執行 委員	予算
1-1	Webサイト拡充	業務	20万円
1-2	安全協会HPバナー掲載	業務	32万円
1-3	交通ジャーナル 広告掲載	業務	54万円
1-4	展示会出展費用	業務	35万円
1-5	備品調達（展示会等使用物品）	業務	10万円
1-6	発送運賃等（展示会等使用物品）	業務	10万円
1-7	名刺/ポスター等印刷物 費用	業務	14万円
合計			175万

全日本交通安全協会  
JAPAN TRAFFIC SAFETY ASSOCIATION

○ 会長あいさつ  
○ 全日本交通安全協会  
○ 事業  
○ 沿革

第59回交通安全国民運動中央大会  
主 幹 (一社)全日本交通安全協会 監 修 庁  
後 援 内 閣 府 文部科学省 国土交通省

NEWS | 着けよう反射材!! ~夜道の交通事故を防ぐには、歩行者自身の対策も大切です。~ 反射材で、ドライバーに目

○ トピックス

- ▶ 2019/10/15 日本宝くじ協会寄贈による交通安全教育車「宝くじ号」贈呈式を開催! 令和元年8月7日(水) 東京ビッグサイトで開催
- ▶ 2019/09/11 第54回交通安全全子供自転車全国大会の結果 埼玉県の本庄市立本庄東小学校が優勝
- ▶ 2019/08/01 令和元年 秋の全国交通安全運動のお知らせ 令和元年9月21日(土)~9月30日(月) (詳細は、内閣府の「令和元年 秋の全国交通安全運動推進要綱」をご覧ください。)
- ▶ 2019/07/19 令和2年使用 交通安全年間スローガン(標語)募集要項 令和元年9月30日(月)締め切り(消印有効)
- ▶ 2019/06/25 令和元年度交通安全ファミリー作文コンクールの募集について 令和元年6月20日(木)~9

大阪モーターショー 12/6・12/9 インテックス大阪

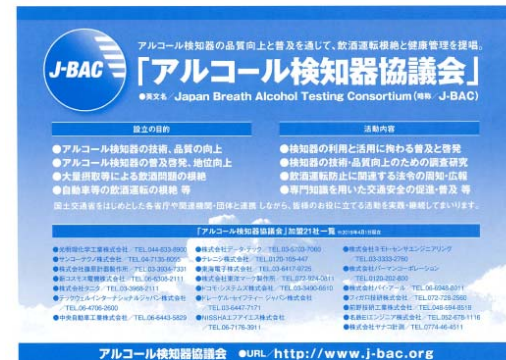
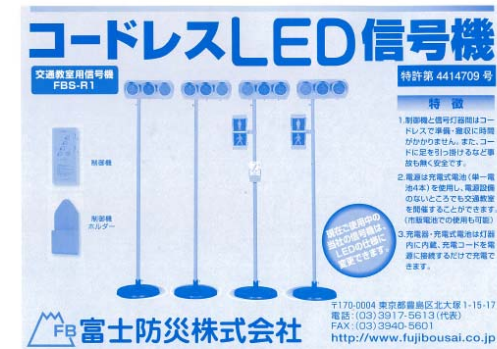
マイクロメイト岡山

J-BAC アルコール検知器協議会

白ナンバー系の広報として、全日本交通安全協会へバナー広告掲載中

# 東京都交通安全協会

活動内容内訳		予算執行 委員	予算
1-1	Webサイト拡充	業務	20万円
1-2	安全協会HPバナー掲載	業務	32万円
1-3	交通ジャーナル 広告掲載	業務	54万円
1-4	展示会出展費用	業務	35万円
1-5	備品調達（展示会等使用物品）	業務	10万円
1-6	発送運賃等（展示会等使用物品）	業務	10万円
1-7	名刺/ポスター等印刷物 費用	業務	14万円
<b>合計</b>			<b>175万</b>



# 展示会班の上期活動報告

活動内容内訳		予算執行 委員	予算
1-1	Webサイト拡充	業務	20万円
1-2	安全協会HPバナー掲載	業務	32万円
1-3	交通ジャーナル 広告掲載	業務	54万円
1-4	展示会出展費用	業務	35万円
1-5	備品調達（展示会等使用物品）	業務	10万円
1-6	発送運賃等（展示会等使用物品）	業務	10万円
1-7	名刺/ポスター等印刷物 費用	業務	14万円
合計			175万

計画	広報対象	費用 (概算)
1 運輸・交通システムEXPO2019(東京・大阪) 出展	運輸業界	0万円
2 7月 飲酒運転させないTOKYOキャンペーン	一般	0万円
3 10月 N A S V A安全マネジメントセミナー	運輸業界	4万円
4 11月 中央技術委員会全国大会	運輸業界	5万円
5 11月 バステクin首都圏	運輸業界	20万円
6 2月 中国バス協会事故防止対策委員会	運輸業界	2万円
計		31万～35万円

実績と今後の予定	広報対象	費用 (概算)	完・未完
1 運輸・交通システムEXPO2019(東京・大阪) 出展	運輸業界	0万円	終了
2 7月 飲酒運転させないTOKYOキャンペーン	一般	0万円	終了
3 8月 福岡飲酒運転ゼロを誓う、市民の集い2019	一般	0万円	終了
4 10月 N A S V A安全マネジメントセミナー	運輸業界	4万円	終了
5 11月 中央技術委員会全国大会	運輸業界	5万円	
6 11月 関西物流展	運輸業界	0万円	
7 11月 バステクin首都圏	運輸業界	20万円	
8 2月 中国バス協会事故防止対策委員会		2万円	
計		31万～35万円	



# 上期 4つのイベント参画

「運輸・交通システムEXPO2019」に出展いたしました。

5月



「アルコール検知器協議会」は、東京ビッグサイトで開催(5/29～31)されました「運輸・交通システムEXPO2019」に出展いたしました。

「飲酒運転させないTOKYOキャンペーン」のイベントに参加いたしました。

7月



「アルコール検知器協議会」は、7月2日「有楽町駅前広場」で行われた「飲酒運転させないTOKYOキャンペーン」のイベントに参加いたしました。

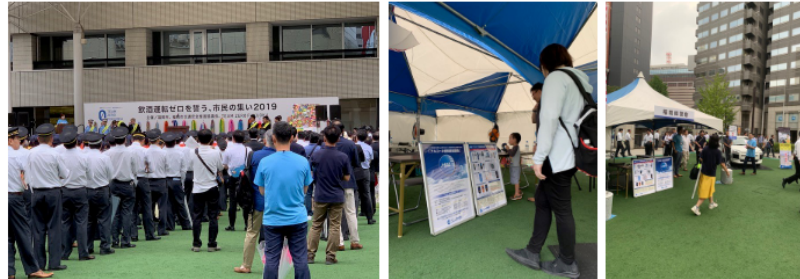
# 4つのイベント参画

---

「飲酒運転ゼロを誓う、市民の集い2019」に参加いたしました。

---

8月



「アルコール検知器協議会」は、8月25日 福岡市役所で行われた「飲酒運転ゼロを誓う、市民の集い2019」に参加いたしました。

福岡市では飲酒運転検挙者における20代の割合が多く、飲酒運転防止に取り組む高校生のブース等もあり、飲酒運転に対する危機感が伝わる熱気あふれる集いでした。

「アルコール検知器協議会」のブースにも多くの家族連れが訪れ「検知器をはじめて触った」という声も聞かれました。

---

10月9日「第14回 NASVA安全マネジメントセミナー」に参加いたします。

---

10月

「アルコール検知器協議会」は「第14回 NASVA安全マネジメントセミナー」に参加いたします。

開催日時：令和元年10月9日（水）13:00～17:10（12:00受付開始）  
開催場所：東京国際フォーラム・ホールC（東京都千代田区丸の内3-5-1）  
参加料：1階・2階席 3,000円、3階席 2,000円

詳細は「NASVA（独立行政法人 自動車事故対策機構）のホームページ」  
<http://www.nasva.go.jp/news/2019/190805.html>  
を参照ください。

# 下期 参画イベント予定 11月～3月

<p>10月31日 日本バス協会 中央技術委員会全国大会</p>	
<p>11月 関西物流総合展</p>	
<p>2月 第56回中国バス協会 事故防止対策委員会総会</p>	

# 教育班 教育活動による広報



## 飲酒運転防止インストラクター

飲酒運転防止インストラクター資格を持った専門員を講習会、安全啓蒙活動開催時に派遣します。

J-BACの認知度向上、検知器の普及啓発のため、「飲酒問題」「アルコール検知」等関連講習の依頼があれば、積極的に応じて、実績を積み上げてゆく。





# 上期実績と下期活動

<b>上期の実績</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>✓ ASKのコンテンツに頼らず、検知器業界ならではの、教材・講習内容の制作、詰め。</li><li>✓ 講習内容には、必ず、協議会活動や、検定制度の説明を入れる</li><li>✓ 協議会認定インストラクター・講師、というコンセプト案。</li></ul>
<b>下期の予定</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>✓ 11月 茨城県石岡地区交通安全協会事務局</li><li>✓ 10月～3月 道内7,8か所 北海道公益社団法人北海道交通安全推進委員会</li></ul>

# ウェブ・IT班

活動内容内訳		予算執行 委員	予算
1-1	Webサイト拡充	業務	20万円
1-2	安全協会HPバナー掲載	業務	32万円
1-3	交通ジャーナル 広告掲載	業務	54万円
1-4	展示会出展費用	業務	35万円
1-5	備品調達（展示会等使用物品）	業務	10万円
1-6	発送運賃等（展示会等使用物品）	業務	10万円
1-7	名刺/ポスター等印刷物 費用	業務	14万円
合計			175万

<b>上期の 実績</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>✓ 外部検定の最新化</li><li>✓ 展示会、検定、業界話題のNew着増</li><li>✓ 会員向けサイト整備</li></ul>
<b>下期の 予定</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>✓ アクセス解析</li><li>✓ コンテンツ、見栄えブラッシュアップ （現行の定期メンテ月額15000円の事務局費用で賄っているが、素材購入等、見栄え強化の予算として20万執行予定）</li></ul>

# 外部検定機器（10 / 1）

## 認定制度および認定機器（外部検定）

### 申請書（外部検定プログラム）

2019年4月より、自主検定方式から外部検定方式（「一般財団法人 化学物質評価機構」（\*1）に検定の一部を委託）に移行いたしました。

申請書は以下からダウンロードして、必要事項をご記入ください。

> 【申請書】 様式1 アルコール検知器 J-BACマーク制度検定(型式認定)(Word)

> 【申請書】 様式2 適合性宣言書(Word)

※機器検定プログラムについては下記（PDF）をご覧ください。

> 【本編】

> 【別冊】

> 【附属書】

> 【外部監査・試験報告書】

\*1 一般財団法人化学物質評価機構 Webサイト

### 認定機器(外部検定)一覧

(2019年10月17日時点で「認定機器」として合格しているのは、6団体.16機種となります。)



(株)タニタ「アルプロ FC-900」  
認定番号：JB10001-1

測定の少ないユーザーに最適なシンプルモデルです。  
『レンタルシステム』により、点検や支払の煩わしい管理を簡略化、さらに低コストを実現しました。高精度・高品質なアルコール検知器を手軽に導入することができます。

> 詳しくはこちら



(株)タニタ「アルプロ FC-1000/1000D」  
認定番号：JB10001-2/JB10001-3

設置型・単独型・携帯型の3WAYモデルです。管理ソフトやスマートフォン・タブレットと合わせて使用すれば、外出先からの遠隔測定の携帯型としても活用できるのが特徴。業務形態の変化にもフレキシブルに対応できます。

> 詳しくはこちら



(株)タニタ「アルプロ FC-1008D」  
認定番号：JB10001-4

設置型・単独型・携帯型の3WAYモデルです。管理ソフトやスマートフォン・タブレットと合わせて使用すれば、外出先からの遠隔測定の手携り型としても活用できるのが特徴。業務形態の変化にもフレキシブルに対応できます。

[> 詳しくはこちら](#)



(株)タニタ「アルプロ FC-1200/FC-1200F」  
認定番号：JB10001-5/JB10001-6

設置型でも単独でも使える汎用高性能モデルです。センサー寿命もロングライフで高いコストパフォーマンスを実現し、特に設置管理拠点多く、測定回数が多い事業者様向け。サーマルプリンター出力など多彩なニーズにお応えします。

[> 詳しくはこちら](#)



東海電子(株)「ALC-PRO II T-ALC-P200」  
認定番号：JB10001-7

一般企業や運輸企業の出退勤管理向けに特化した、アルコール検知器システムです。顔写真付き測定結果・測定前後の動画が1年以上記録されます。不正防止機能が充実した、標準モデルでありながら、IC免許証・血圧計との連動、IT点呼等、拡張性にすぐれた入門機です。

[> 詳しくはこちら](#)



(株)パイアール「アルキラーW」  
認定番号：JB10001-8

アルキラーPlusに日本製高精度センサーを搭載した電気化学式検知器が登場！スマートフォン連動型アルコールチェックシステム「いつでもだれが検知したのか」をwebで確認し、確実な管理と不正防止に活用できます。

[> 詳しくはこちら](#)



フィガロ技研(株)「フーゴプロ FALC-11」  
認定番号：JB10001-9

運輸業務管理に最適な機能を搭載したアルコール検知器です。事務所据置型、遠隔地管理用いずれの使い方もでき、付属のPC管理用ソフトで検査結果を一元管理することが可能です。

[> 詳しくはこちら](#)



サンコーテクノ(株)  
「多機能業務用アルコール検知器 ST-3000」  
認定番号：JB10001-10

高性能センサー「燃料電池式センサー」を搭載。まずは、検知器単体から導入し、PC管理できるGuardian NEXT及びIT点呼システムGuardian NETまでシステムアップをすることが可能です。お客様の様々なシーンで活用できる検知器です。

[> 詳しくはこちら](#)



(株)パイアル「アルキラーPlus」  
認定番号：JB10001-11

iOS・Android対応のスマートフォン運動型アルコールチェックシステム。  
シンプルな操作とコンパクト・スリム設計！  
低濃度での感度が高い半導体ガスセンサー検知器で「いつでもだれが検知したのか」をwebで確認。  
確実な管理と不正防止に活用できます。

> 詳しくはこちら



中央自動車工業(株)  
「ソシアック・アルファネクスト SC-403」  
認定番号：JB10001-13

業界初の「ハイブリッドセンサー」を採用したハイグレードなパーソナルタイプです。アルコールガス感度が飛躍的に向上(当社比)した他、充電電池も使用可能な省電力設計。吹きつけ方法も「直接」「マウスピース」「ストロー」を選択でき、さらに測定結果を15件まで保存可能です。

> 詳しくはこちら



東海電子(株)「ALC-miniIV T-ALC-MiniIV」  
認定番号：JB10001-15

運輸業及び一般企業向けに特化した、IC免許証リーダーおよびプリンターを一体化したアルコール検知器です。IC免許証をかざすだけで測定が開始され、飲酒測定と同時に免許証の有効期限をチェックすることができます。日時や測定結果、有効期限は感熱紙に印刷され、また結果はUSBに保存することも可能です。

> 詳しくはこちら



中央自動車工業(株)  
「ソシアック・アルファ SC-402」  
認定番号：JB10001-12

業界初の「ハイブリッドセンサー」を採用したハイグレードなパーソナルタイプです。アルコールガス感度が飛躍的に向上(当社比)した他、充電電池も使用可能な省電力設計。吹きつけ方法も「直接」「マウスピース」「ストロー」を選択できます。

> 詳しくはこちら



(株)タニタ「EA-100」  
認定番号：JB10001-14

センサーキャップを持ち上げて電源ON、息を吹きかけるだけで簡単に呼気アルコール濃度を確認できます。  
携帯に便利で、ワイシャツの胸ポケットにもすっきり収まるサイズです。

> 詳しくはこちら



東海電子(株)「ALC-Mobile II T-ALC-MB200」  
認定番号：JB10001-16

一般企業や運輸企業に特化した、アルコール検知器です。スマートフォンと接続することで、遠隔地での測定、テレビ電話や顔写真のメール送信が可能になります。運輸業界では遠隔地ドライバーとの電話点呼で多く使われ、一般企業では、早朝出勤者の確認等でも使われています。

> 詳しくはこちら

# 活動新着・業界新着

2019.08.19

8月25日 福岡市の「飲酒運転ゼロを誓う、市民の集い2019」に参加いたします。

2019.07.03

「飲酒運転させないTOKYOキャンペーン」のイベントに参加いたしました。

2019.06.26

7月2日「飲酒運転させないTOKYOキャンペーン」のイベントに参加いたします。

2019.06.03

「運輸・交通システムEXPO2019」に出展いたしました。

2019.05.15

運輸・交通システムEXPO2019の出展のお知らせ

2019.05.15

アルコール検知器の測定下限値につきまして

2019.10.17

「認定機器」2機種を「認定機器(外部検定)一覧」に追加掲載いたしました。

2019.10.08

【国土交通省】鉄軌道運転士の飲酒に関する基準等が改正されました。

2019.10.01

「認定機器(外部検定)一覧」に「認定機器」を掲載いたしました。

2019.09.26

10月9日「第14回 NASVA安全マネジメントセミナー」に参加いたします。

2019.08.26

「飲酒運転ゼロを誓う、市民の集い2019」に参加いたしました。


2019.08.19

8月25日 福岡市の「飲酒運転ゼロを誓う、市民の集い2019」に参加いたします。

半年で、12本=月平均 2つの新着

# 海外班

## (他国の飲酒問題政策や海外メーカー動向)

<p style="text-align: center;"><b>上期の 実績</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 海外の、検知器や交通安全がからむ展示会の分析・調査</li> <li>✓ 9月、カナダの国際展示会ICADTS参加・レポート</li> </ul> <table border="1" data-bbox="770 587 1552 724"> <thead> <tr> <th>名目</th> <th>日程</th> <th>会場</th> <th>テーマ</th> <th>出席(出席者)</th> <th>出席(来賓)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ICADTS 2019</td> <td>8月18日～21日</td> <td>トロント、アルバータ州</td> <td>道路検知器と交通安全に関する検察システム</td> <td>300人以上の交通安全業界の専門家</td> <td>運輸省サービスアドバイザー</td> </tr> <tr> <td>セブアード2019</td> <td>8月27日～29日</td> <td>マニラ、フィリピン</td> <td>道路交通安全や検知器システム</td> <td>セキュリティ安全、安心(来賓)500人以上</td> <td>公的セクター、民間セクターにおける民間企業・労働安全衛生関係者</td> </tr> <tr> <td>測定ワールド2019</td> <td>9月24日～26日</td> <td>パリ、フランス</td> <td>計量・計測業界のすべての人へ</td> <td>光学検知器や検知器、計量・測定検知器2300以上のディスプレイ</td> <td>3000人の来賓</td> </tr> <tr> <td>ヨーロッパVIA UK 2019</td> <td>10月22日～31日</td> <td>バーミンガム、イギリス</td> <td>バス業界(マイクロバス、ツアーバス)向けショーケース</td> <td>自動車産業と検知器企業200社以上</td> <td>運輸企業に関する5000人程度の来賓</td> </tr> <tr> <td>IACP 2019</td> <td>10月27日～29日</td> <td>シカゴ、イノバ</td> <td>道路検知器に関するさまざまな業界団体の連携や教育</td> <td>650社以上(来賓)警視庁(検知器)システムや検知器メーカー</td> <td>公共安全に関する10000人の来賓者</td> </tr> <tr> <td>MILPOL 2019</td> <td>11月19日～22日</td> <td>パリ、フランス</td> <td>国土安全保障と安全性</td> <td>53国から1000の出展(代表的な展示やセキュリティ産業)</td> <td>111国からの産業関係者、2900人</td> </tr> </tbody> </table> 	名目	日程	会場	テーマ	出席(出席者)	出席(来賓)	ICADTS 2019	8月18日～21日	トロント、アルバータ州	道路検知器と交通安全に関する検察システム	300人以上の交通安全業界の専門家	運輸省サービスアドバイザー	セブアード2019	8月27日～29日	マニラ、フィリピン	道路交通安全や検知器システム	セキュリティ安全、安心(来賓)500人以上	公的セクター、民間セクターにおける民間企業・労働安全衛生関係者	測定ワールド2019	9月24日～26日	パリ、フランス	計量・計測業界のすべての人へ	光学検知器や検知器、計量・測定検知器2300以上のディスプレイ	3000人の来賓	ヨーロッパVIA UK 2019	10月22日～31日	バーミンガム、イギリス	バス業界(マイクロバス、ツアーバス)向けショーケース	自動車産業と検知器企業200社以上	運輸企業に関する5000人程度の来賓	IACP 2019	10月27日～29日	シカゴ、イノバ	道路検知器に関するさまざまな業界団体の連携や教育	650社以上(来賓)警視庁(検知器)システムや検知器メーカー	公共安全に関する10000人の来賓者	MILPOL 2019	11月19日～22日	パリ、フランス	国土安全保障と安全性	53国から1000の出展(代表的な展示やセキュリティ産業)	111国からの産業関係者、2900人
名目	日程	会場	テーマ	出席(出席者)	出席(来賓)																																						
ICADTS 2019	8月18日～21日	トロント、アルバータ州	道路検知器と交通安全に関する検察システム	300人以上の交通安全業界の専門家	運輸省サービスアドバイザー																																						
セブアード2019	8月27日～29日	マニラ、フィリピン	道路交通安全や検知器システム	セキュリティ安全、安心(来賓)500人以上	公的セクター、民間セクターにおける民間企業・労働安全衛生関係者																																						
測定ワールド2019	9月24日～26日	パリ、フランス	計量・計測業界のすべての人へ	光学検知器や検知器、計量・測定検知器2300以上のディスプレイ	3000人の来賓																																						
ヨーロッパVIA UK 2019	10月22日～31日	バーミンガム、イギリス	バス業界(マイクロバス、ツアーバス)向けショーケース	自動車産業と検知器企業200社以上	運輸企業に関する5000人程度の来賓																																						
IACP 2019	10月27日～29日	シカゴ、イノバ	道路検知器に関するさまざまな業界団体の連携や教育	650社以上(来賓)警視庁(検知器)システムや検知器メーカー	公共安全に関する10000人の来賓者																																						
MILPOL 2019	11月19日～22日	パリ、フランス	国土安全保障と安全性	53国から1000の出展(代表的な展示やセキュリティ産業)	111国からの産業関係者、2900人																																						
<p style="text-align: center;"><b>下期の 予定</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 海外の酒気帯び・飲酒基準 (コンテンツ情報集め)</li> <li>✓ OIML R126 国際会議</li> </ul>																																										

# 相談事項

- 1) 購入について  
展示会用PCや、パネル梱包、専用箱  
協議会用のプロジェクターの購入  
(今後教育とかでも使用)
- 2) 認定品の掲載依頼のルーチンと内容について
- 3) ウェブサイト改修方針
  - ・多言語化 (英語→中国)
  - ・2020年末に終了する自主検定品の配置